

## コミュニケーション学部報（2020年度）

### 1. 専任教員

教授	池 宮 正 才	
	大 岩 直 人	
	北 村 智 (教務主任)	
	駒 橋 恵 子	
	佐々木 裕 一	
	柴 内 康 文	
	田 村 和 人	
	中 村 忠 司	
	中 村 嗣 郎	
	長谷川 倫 子	
	南 隆 太	
	本 橋 哲 也	
	山 下 玲 子	
	山 田 晴 通 (学部長)	
准教授	大 榎 淳	
	北 山 聡	
	小 林 誠	
	小 山 健 太	
	松 永 智 子	
	光 岡 寿 郎	
	ピーター・ロス	
	大 橋 香 奈	
	専任講師	安 斎 利 洋
		板 谷 和 代
米 澤 伸 弥		

### 2. 客員教授

### 3. 特任講師

稲 垣 秀 人  
林 剛 大

### 4. 特命講師

金 杉 朋 子

### 5. 非常勤講師

エバノフ恵智子  
大 野 志 郎  
大 谷 安 宏  
河 井 大 介  
草 野 清 子  
志 岐 裕 子  
島 田 由 香  
鈴 木 麻 利 子  
高 野 敦 伸  
チェーンバース・ガルシア  
鳥 海 希 世 子  
ハウカンブ・アイリス  
原 島 大 輔  
藤 井 達 也  
堀 口 剛  
堀 正  
水 野 裕 子  
吉 田 達

### 6. 学生が選ぶベストティーチャー賞表彰

・受賞者  
大橋香奈

【参考】東京経済大学コミュニケーション学部  
「学生が選ぶベストティーチャー賞」実施要項  
2015年4月1日 制定

#### 1. 目的

東京経済大学コミュニケーション学部は、以下の目的をはたすため、「東京経済大学コミュニケーション学部ベストティーチャー賞」を設

ける。

(1) 教育実践において学生から高い評価を得た学部教員を「ベストティーチャー」として表彰する。

(2) 「ベストティーチャー」の高く評価された点や授業ノウハウを教員間で共有し、教育水準の向上を図る。

#### 2. 賞の英文名称

本賞の英文名称は、Best teacher awarded by students とし、「BETAS」を通称とする。

#### 3. 賞の授与

本賞は、学生アンケートの回答をもとに、以下の点について評価の高い教員を年に1回選出、表彰するものである。

(1) 授業において、卓越した指導力で教育効果の高い授業を実践した者。

(2) 教育方法の工夫又は改善に取り組み、顕著な教育成果をあげた者。

(3) その他、ベストティーチャー賞にふさわしいと認められる者。

受賞対象者はコミュニケーション学部教員(コミュニケーション学部生が履修する授業担当者)とし、非常勤教員を含む。

受賞者は原則、1名とする。

#### 4. 選考手続き

(1) 学生アンケートの実施は、ベストティーチャー選考委員会が行う。

(2) 実施手続きは上記選考委員会が別途定める。

(3) アンケート結果をもとに上記選考委員会が受賞者を決定する。

#### 5. 選考委員会の構成

(1) 教務主任

(2) 学部専任教員(若干名)

(3) その他、学部長が指名する者

委員長は委員の互選とする。

任期は1年とする。

#### 6. 表彰

受賞者には表彰状を授与する。

#### 7. 選考結果

大学のウェブサイトを受賞教員名、授賞理由を公表する。

#### 7. 卒業制作・卒業論文表彰

・最優秀賞(1点)

福山茉依「JCを染める「韓国」-ローティーン雑誌『ニコラ』の分析から-」〈論文〉

・優秀賞(10点)

渡邊宗大「「不倫」と「お笑い」」〈制作〉

藤澤みゆ「3Dモデリングとその活用」〈制作〉

内田千央里「ジャニーズファンの同担拒否行動と心理状況や応援行動の度合いとの関係性について」〈論文〉

伊藤わかな「女性地上アイドルと地下アイドルを応援する女性のファン行動について」〈論文〉

村上瑞希「字幕付きテレビCMの可能性 ~テレビCMをより多くの人に~」〈論文〉

芳賀彩香「雑誌からみる日本における女性の理想像」〈論文〉

佐々寛斗「フィリピンの人口流出 -海外出稼ぎ労働者の現状と理由-」〈論文〉

吉野莉緒「テレビCMを補強する動画プロモーションの効果」〈論文〉

澤谷海斗「日本における真の男女平等について考える~性別意識がもたらす男女差別~」〈論文〉

矢形優佳「ヴィーガンという生き方」〈論文〉

<p><b>8. 東京経済大学コミュニケーション学部・大学院コミュニケーション学研究科調査・実験等研究倫理小委員会報告</b></p>		
承認番号	申請者	研究課題名
2020-01	林 剛大	日本の大学生の英語の自律的学習：2020年度1期後の夏季休暇期間
2020-02	山下玲子	日本人のメディア利用と国民意識・コスモポリタニズム意識：コロナ感染リスクと東京五輪との関連を中心に
2020-03	北村 智	COVID-19流行後の日本人の情報行動
2020-04	翁 嘉誉	医師患者関係の人類学的研究—中国の慢性病患者の病院における医療コミュニケーションを事例に
2020-05	山下玲子	日本人のメディア利用と国民意識・コスモポリタニズム意識2：コロナ感染リスクと東京五輪との関連を中心に